

〈文献紹介〉

若林敬子編集・解説

『中国の人口問題に関する最近の基本資料』

(厚生省人口問題研究所研究資料No.237)

田辺 義明

現代中国、とくに70年代末期以降における政策的課題の最重要項目の一つに、人口問題の解決が挙げられることは述べるまでもないであろう。本資料は、この問題に関する「最近の」とくに、ここ1-2年、中国国内において発表された主要な改制法令や学術論文について、それらを集成・邦訳し、さらに解説を附したものである。

いわゆる「一人っ子政策」として知られる計画生育(家族計画)の推進は、人口政策のいわば大黒柱となっており、編者は本資料の前半部分を、計画生育政策とその基盤となる人口学研究に関する諸論稿にあてている。

それらについては以下の論文などが収められている。

「中国の計画出産活動」(国家計画出産委員会)

「人口学に関わる若干の問題について — 中国の計画出産はマルサス主義とは異なる — (許 蔭新)

「人口学会への展望 — 学会発足全国科学討論会記録」(中国人口学会)

しかし近年は計画生育の推進という従来の支柱に加えて、「小城镇」建設という、労働力分布に関する再構成計画も重要な政策課題として浮上して来ている。

この「小城镇」建設とは、農村地域における農業の余剰労働人口を地域ごとに集約化し、そこに商工業の拠点(小城镇)を設置しようという構想で、農村人口の大都市流入を阻止すると共に、併せて農村地域の内発的工業化を意図しているといわれる。— それはまた、解放後の中国にあって永らく構図を成していた都市:農村の対照に媒介

項を設定するものといえよう —。

本資料においては、費孝通(全国政協副主席、中国社会学会会長)らによる「小城镇」建設に関する論文と、その関係法令も収められており、それらは計画の内容と今後の推移を考える上で注目に価する。

それらは以下の数篇である。

「農業における余剰人口の“転移”と経済発展」(王向明)

「小城镇の再調査」(費孝通)

「人口問題解決の二つの道」(費孝通)

また人口に関する諸問題と切り離すことのできない家族構造、老人扶養、婚姻問題などについて若干の資料が収録されているのも見逃せない。それらには「身分証」(写し)とその条例文、雲南農村の生活保障制度「五保弁法」の内容、そして人口キャンペーンのポスター写真までが含まれている。これらは編者の徹底した「現物」実証主義の反映でもあろう。

特記すべきは、巻末に77年以降の人口関係中文単行本リストと主要人口統計の抜粋が添えられていることである。とくに関連分野別にまとめられた前者は、他に例をみない数量の文件を列挙しており、それらによっても資料集の「工具」的価値は高められている。

ただ惜しむらくは、これが商業出版のルートにのるものではなく、一般に公開されているとはいえず、政府系研究機関のいわば「内部発行」であり、必ずしも、その入手に便宜が計られていないということであろう。今後は、このようなタイムリーな計画による的確な情報が、一般図書形式によって関心を持つ人々に供給されて行くことが望まれる。したがって現時点では、関係機関の資料担当部門などを通じて、この資料集を現代中国の社会研究に活用して頂きたいと考える。

(1985年9月刊, B5判, 216頁, 非売品)